

新規就農を地域でサポートする体制の事例②

国見町（福島県）

品目：施設・路地野菜

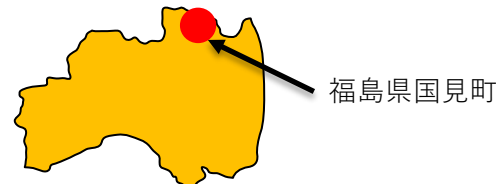
就農相談体制の整備

先輩農業者等による技術面等のサポート

概要

- 農業従事者の高齢化などにより農地の遊休化が進み、新規就農者の育成・確保が急務となっていたことから、平成30年に「くにみ農業ビジネス訓練所」を新規就農相談・研修拠点として整備。
- 令和4年度から、サポート体制構築事業を活用し、就農前後の方への相談対応に加え、就農後の方に対する継続的な技術指導を行う。

位置図



サポート体制

- ① **くにみ農業ビジネス訓練所**
就農前後の方にとっての**ワンストップ相談窓口**。就農希望者向けに路地・施設野菜の研修を実施。
- ② **国見町新規就農者定住支援協議会**
東北農政局福島県拠点、福島県の農業普及指導センター、農地中間管理機構、国見町、同町農業委員会及び地元JAなどで構成。①から情報提供を受け、就農前後の方に対して、**農地のあっせん・確保や就農計画作成などの行政的な支援**を実施。
- ③ **先輩農業者（1名）**
①で育成した就農希望者に対し**就農後も、引き続き技術指導**を行う。

【担当機関】 【役割】

サポート体制

①

研修施設・
ワンストップ
窓口



【訓練所】

②

就農前後の方
への行政的支援



【座学研修の様子】

③

就農後の方
に対する技術指導

取組内容

(1) 就農相談員の設置

くにみ農業ビジネス訓練所で**訓練指導役を担ってきた方1名を就農相談員として配置**。**農地、資金、生活面などの幅広い相談**に対応。

(2) サポート活動の実施

①**就農目標を設定するワークショップ**2回、②**新規就農の諸制度の説明会**1回、③**青就計画策定の支援**、④農委と機構による**農地情報提供や手続きの説明会**と**候補地**（訓練所外）の**現地案内**、⑤訓練所が保有する**農機具の貸出し**、⑥協議会の情報共有のための会議2回。

(3) 就農相談会、交流会の開催

ふくしま農業人フェア（10月）と**新・農業人フェア**（9月）にブース出展し、**町での就農に関心のある方への情報提供**を実施。また、**新規就農者の交流組織**「あつかし農友会」が近隣の道の駅で**イベント販売と交流会を計4回開催**し、就農希望者との交友。



【就農フェアの様子】



【イベント販売の様子】

(4) 先輩農業者への依頼

町野菜づくり研究会の会長である**ベテラン野菜農家1名**に指導役を依頼。

(5) 技術指導を実施

親元就農した新規就農者の**独立自営就農**に向け、**露地・ハウスを組み合わせ、トウモロコシやオクラなど野菜9種類の栽培研修、経営・病害虫防除など計14単元（400時間）の講義**を実施。



【技術指導の様子】